

科目区分	授業科目	年次	単位	卒業要件					学芸員 課程
				建築コース			デザインコース		
				建築	インテリア	まちづくり	プロダクト	グラフィック	
				一級・二級建築士 インテリアプランナー			*インテリアプランナー		
デザイン領域	平面構成演習Ⅰ	1	2				◎	◎	
	平面構成演習Ⅱ	1	2				◎	◎	
	立体構成演習Ⅰ	1	2				◎	◎	
	立体構成演習Ⅱ	1	2				◎	◎	
	デザイン図学	1	2				◎	◎	
	モデリング演習	2	2				◎	○	
	デザインCAD	2	2				◎	○	
	イラストレーションテクニック	2	2				○	◎	
	レンダリング演習	2	2				◎	○	
	版画演習	2	2	○	○	○	○	◎	
	メディア概論	3	2	○	○	○	○	◎	
	陶芸演習	3	2	○	○	○	◎	○	
	メタルクラフト演習	3	2				◎	○	○
	商品企画情報論	3	2	○	○	○	◎	◎	
	木工演習Ⅰ	2	2				◎	○	
	木工演習Ⅱ	3	2				◎	○	
	デジタル写真演習Ⅰ	2	2				○	◎	
	デジタル写真演習Ⅱ	2	2				○	◎	
	グラフィックCG演習Ⅰ	1	2	○	○	○	◎	◎	
	グラフィックCG演習Ⅱ	2	2	○	○	○	◎	◎	
	グラフィックCG演習Ⅲ	2	2				○	◎	
	グラフィックCG演習Ⅳ	3	2				○	◎	
	グラフィックCG演習Ⅴ	3	2				○	◎	
	グラフィック演習Ⅰ-*	2	2				○	◎	
	グラフィック演習Ⅱ-*	2	2				○	◎	
	グラフィック演習Ⅲ	3	2				○	◎	
	グラフィック演習Ⅳ	3	2				○	◎	
	プロダクト演習Ⅰ	2	2				◎	○	
プロダクト演習Ⅱ	2	2				◎	○		
プロダクト演習Ⅲ	3	2				◎	○		
プロダクト演習Ⅳ	3	2				◎	○		
卒業論文制作	ゼミナール	3	4	◎	◎	◎	◎	◎	
	卒業論文・制作Ⅰ	4	4	◎	◎	◎	◎	◎	
	卒業論文・制作Ⅱ	4	4	◎	◎	◎	◎	◎	
科目	学部専門科目	必修科目(◎)		80	80	80	70	70	
		選択必修科目(○)		8	8	8	6	6	
		学部専門教育科目		8	8	8	20	20	
		専門教育科目(小計)		96	96	96	96	96	
教養教育科目				28	28	28	28	28	
卒業要件単位数(合計)				124	124	124	124	124	

◎：この印の科目の単位は取得しなければならない(必修科目)

○：この印の科目の中から選択し、所定の単位数以上を取得しなければならない(選択必修科目)

\*：デザインコースでインテリアプランナーの試験合格後の、実務経験免除には\*印の科目の単位を取得すること

※：教職課程「美術」を履修している文芸学部学生のみ履修可。

文芸学部開放科目	劇芸術概論B(社会と演劇)	1	2						
	劇芸術概論C(映像芸術とドラマ)	1	2						
	舞台美術各論	2	2						文芸学部学生優先
	建築史A(古代及び中世)	2	2						
	建築史B(前近代及び近代)	2	2						
	造形理論	2	2						

文芸学部開放科目は、卒業要件科目の選択科目になります。

ただし、文芸学部開放科目の「建築史A」「建築史B」は一級建築士・二級建築士・インテリアプランナーの受験資格を得ることはできない。

## 選択必修外国語科目

履修方法をつぎのa～fの中から選んでください。ただし外国人留学生および海外帰国子女は75ページ～の〔5〕を参照してください。

	授業科目	年次	単位	履修方法						
				a	b	c	d	e	f	
教養教育	必修	英語 A (リスニング・スピーキング)	1	2	2	2	2	2	2	2
	選択必修 (選択必修 外国語)	英語 B (リーディング・ライティング)	1	2	2	2	2			
		フランス語 I (入門)	1	2	4			4	4	
		フランス語 II (表現)	1	2						
		中国語 I (入門)	1	2		4		4		4
		中国語 II (表現)	1	2						
		ドイツ語 I (入門)	1	2			4		4	4
		ドイツ語 II (表現)	1	2						
専門基礎	選択必修 (選択必修 外国語)	文芸英語	2	2	2	2	2			
	文芸フランス語	2	2	2			2	2		
	文芸中国語	2	2		2		2		2	
	文芸ドイツ語	2	2			2		2	2	
	計				12	12	12	14	14	14

## 4. 教育課程（カリキュラム）および履修方法

### 〔1〕 単位について

授業科目には、それぞれ1～6の単位が割り振られています。科目を履修し、合格の評価を得ることにより単位を修得することができます。

### 〔2〕 授業科目について

授業科目には、年間を通して実施される通年科目、前期または後期だけで完結する半期科目、短期間に集中して授業を実施する集中講義があります。

### 〔3〕 卒業要件について

卒業要件とは、卒業に必要な最低限の単位数です。文芸学部を卒業するためには、124 単位が必要です。なお、1 年間に履修登録できる単位数の上限は 40 単位です。ただし、以下の（1）と（2）に限り 40 単位を超えた履修を認めます。

- （1）2年次以降は前年度までの通算 GPA3.0 以上の者については、履修指導の上、44 単位まで認めます。
- （2）教職、学芸員、司書の資格取得希望者のうち、担任（アカデミックアドバイザー）の履修指導を踏まえ、学部長が認めたものについては、49 単位まで認めます。
- （3）2年次以降の教職、学芸員、司書の資格取得希望者のうち、前年度の通算 GPA2.6 以上の者で、担任（アカデミックアドバイザー）の履修指導を踏まえ、学部長が認めたものについては、54 単位まで認めます。

#### ① 必修科目

必修科目は、必ず修得しなければならない科目です。

教養教育科目の必修科目は、「基礎ゼミナール」「ライフプランと自己実現」「課題解決ワークショップ」「データサイエンスとICTの基礎」「情報処理」「英語 A」の6科目です。

専門基礎分野の必修科目は、「文芸入門 A～D」です。

専門分野 I には必修科目はありません。

専門的な教育を受けるにあたっての基礎を学ぶ学部共通科目です。「総合基礎」、「国際基礎」、「ジェンダー関係」の3つの科目群から構成されます。

#### (4) 専門科目

学部共通の専門基礎科目において学んだことを土台に、より深く学ぶための専門分野の科目です。「エリア・スタディーズ」、「コミュニケーション・スタディーズ」、「グローバル・スタディーズ」等の科目群から構成されます。

また、必要に応じ「関連科目」において、諸資格等に関する科目および「国際事情／フィールドワーク」を選択できます。

### 〈コースの特色〉

---

国際学部では、「エリア・スタディーズコース」、「コミュニケーション・スタディーズコース」、「グローバル・スタディーズコース」の3つのコースを設定します。

- (1) エリア・スタディーズコースでは、アジア、ヨーロッパ、アメリカそれぞれの地域の地誌や歴史、社会、思想・宗教などを中心に学びます。
- (2) コミュニケーション・スタディーズコースでは、コミュニケーションの手段としての言語をめぐる問題や、異文化間コミュニケーション、そして言語文化や表象文化などを中心に学びます。
- (3) グローバル・スタディーズコースでは、国際関係、国際法や国際経済、さらに政府・国際機関・NGOなどを通じた国際協力や国際文化交流などを中心に学びます。

学生は、4年間の学修の重点と方向性を定めるため、2年次進級時に3つのコースのいずれか1つを自分のコースとして選択します。2年次に選択したコースは、3・4年次も原則として継承されます。卒業するために最低限取得すべき専門基礎科目群および専門科目群の科目の選び方が、コースによって異なります(95ページ参照)。

### 〈コースと専攻分野による学修の系統性・専門性〉

---

国際学部では、コースによって学生の系統的な学修を促すとともに、コースの下位区分として「専攻分野」を設定し、より専門的な学修を推奨します。専攻分野は、コースでの学びの専門性をさらに深めるための仕組みであり、それぞれに対応した履修推奨科目により構成されます。学生は、関心のある専攻分野の履修推奨科目リスト(『国際学部リフレット 2022』に記載)を参考にして履修計画を立案し、専門的な学修を実践します。各コースと専攻分野の関係は以下の通りです。